

# 保存菌株を用いた疫学的菌学研究 に関する研究のお知らせ

帝京大学医真菌研究センター並びに帝京大学大学院 医療技術学研究科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2025 年 4 月 1 日 ～ 2029 年 3 月 31 日

## 〔研究課題〕

TIMM カンジダ・アウリス カルチャーコレクション保存菌株を用いた疫学的菌学研究

## 〔研究目的〕

現在、カンジダ・アウリスによる血流感染症が世界各地で問題となっており、2023 年、国内でも当該菌を原因とする真菌血症死亡例が初めて報告されました。本邦におけるカンジダ・アウリスの疫学や菌学に関するデータは少なく、本研究では、TIMM カンジダ・アウリス カルチャーコレクションに保存されたカンジダ・アウリス株とその症例情報を用いて、感染・保菌のリスク要因解析や薬剤耐性等の菌学的性状の動向及び、インドや南アフリカでよく分離される病原性の高い遺伝子型の国内流入状況を調査します。

## 〔研究意義〕

感染者及び保菌者の疫学的解析は、感染症のリスク要因を明らかにするとともに、発症を減らす方法の追求に役立ちます。また、薬剤耐性菌の動向や高病原性遺伝子型の国内流入状況を知ることで、感染症の治療が困難になるリスクや、重症化・死亡に至る可能性が高まることを把握できます。

## 〔対象・研究方法〕

本研究では、帝京大学医真菌研究センター(TIMM)に保存されているカンジダ・アウリス株を使用します。また、菌株保存時に併せて提出される真菌同定依頼書に記載された情報のうち、患者の性と年代、検体採取地域(海外は国名、国内は都道府県名)、検体の種類を疫学的解析に使用します。また、各菌株については、遺伝子型分類と抗真菌薬感受性試験及び、生化学的・物理的性状を解析し、併せて検討します。

## 〔研究機関名〕 帝京大学

## 〔個人情報の取り扱い〕

本研究では個人情報が含まれない試料・情報のみを取り扱います。

研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 榎村 浩一 職名 教授  
研究分担者：氏名 丸山 晃 職名 大学院生  
研究責任者所属：帝京大学医真菌研究センター  
研究分担者所属：帝京大学大学院 医療技術学研究科 臨床検査学専攻  
住所：東京都八王子市大塚 359 TEL：042-678-3256（代表）